



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東  
 コード番号 3747 URL <https://www.itrade.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	932	0.1	75	3.6	△21	—	7	△89.1
2022年9月期第2四半期	931	△5.4	73	△9.0	△12	—	71	192.7

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 4百万円(△93.4%) 2022年9月期第2四半期 72百万円(192.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	1.09	—
2022年9月期第2四半期	10.00	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	1,691	1,299	76.3
2022年9月期	1,609	1,294	79.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 1,290百万円 2022年9月期 1,282百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00			
2023年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	11.8	220	△8.8	50	△20.2	35	△79.8	4.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年9月期2Q	7,444,800株	2022年9月期	7,444,800株
2023年9月期2Q	259,200株	2022年9月期	259,200株
2023年9月期2Q	7,185,600株	2022年9月期2Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、暗号資産プラットフォーム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び機能性食材であるハナビラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」の3つです。

当第2四半期連結累計期間（以下、「当第2四半期」）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2022年9月期 (前第2四半期)		2023年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	931	100.0	932	100.0	100.1
金融ソリューション事業	757	81.3	735	78.9	97.1
ビジネスソリューション事業	105	11.4	120	13.0	114.4
ヘルスケア事業	68	7.3	75	8.1	110.7
営業利益	73	—	75	—	103.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	71	—	7	—	10.9

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第2四半期の業績は、売上高は前年同期比100.1%の932百万円とほぼ横ばいとなりました。損益面においては、営業利益は、前年同期73百万円から75百万円の若干の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法適用関連会社である株式会社デジタルアセットマーケット（以下「デジタルアセットマーケット」）の持分法による投資損失96百万円を計上し、持分変動利益の計上額が前年同期よりも減少したため、前年同期71百万円から7百万円へと減益となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 735百万円（前年同期比 97.1%）

セグメント利益 232百万円（前年同期比 90.8%）

当第2四半期においては、前連結会計年度に新規に導入した案件によるライセンス売上が増加したものの、前年同期に比べて、大口の新規導入案件がなかったため、売上高は735百万円と前年同期比97.1%と若干の減収となりました。セグメント利益も減収の影響及びソフトウェアの保守に伴う外注費等の増加により、前年同期比90.8%の232百万円となりました。

デジタルアセットマーケットが目指す、web3.0時代の新たな金融プラットフォームの構築に引き続き、システム面で支えていきます。FinTechにより、これまでの縦割りのサービス展開から、非金融分野へと横断的なサービス展開ができる可能性を秘めており、この流れをビジネスチャンスと捉え、更なる拡大を目指しております。その為に、長期的な視点から、体制の強化、人員の増強が必要であると捉えており、短期的には利益率が下がりますが、更なる成長に向けて組織力の強化に取り組んでおります。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 120百万円（前年同期比114.4%）

セグメント損失 10百万円（前年同期は10百万円のセグメント損失）

経営統合管理プラットフォーム『GroupMAN@IT e2』における既存顧客からの追加開発の案件などにより、売上高は前年同期比114.4%の120百万円となりました。増収となったものの損益面はコスト増加により、10百万円のセグメント損失と前年同期と同水準となりました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	75百万円 (前年同期比110.7%)
セグメント損失	19百万円 (前年同期は24百万円のセグメント損失)

当第2四半期の売上高は、ハナビラタケ製品のOEMによる売上増加により、前年同期比110.7%の75百万円と増収となりました。損益面も増収の影響及び経費削減など継続して収益構造を改善した結果、セグメント損失は19百万円となり前年同期24百万円のセグメント損失より改善しております。

機能性表示食品の取得に向けて準備を進めており、当連結会計年度中の取得及び新商品の発売を目指しております。機能性表示食品の取得により『ITはなびらたけ』の更年期女性をターゲットとした機能性を表記することにより、消費者により訴求力の高い商品展開を進めていきます。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ81百万円増加し、1,691百万円となりました。自己資本比率は76.3%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は411.1%となっております。

#### (資産)

資産合計1,691百万円のうち、現金及び預金が1,038百万円(構成比61.4%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形、売掛金及び契約資産184百万円(構成比10.9%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)57百万円(構成比3.4%)、投資有価証券151百万円(構成比9.0%)となっています。

なお、総資産額が前連結会計年度末に比べ81百万円増加した主な要因は、現金及び預金が181百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が95百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

負債合計392百万円のうち、短期借入金が100百万円(負債純資産合計に対する構成比5.9%)となっております。

なお、負債合計が前連結会計年度末に比べ77百万円増加した主な要因は、新たに借入を行ったことにより、長期借入金が76百万円及び1年内返済予定の長期借入金20百万円、計96百万円(負債純資産合計に対する構成比5.7%)増加したことによるものです。

#### (純資産)

純資産合計1,299百万円の主な内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,089百万円、自己株式△95百万円となっております。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ181百万円増加し、1,038百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは105百万円の収入(前年同期は135百万円の収入)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益21百万円、売上債権の減少額95百万円、持分法による投資損失96百万円であり、主な減少要因は、持分変動利益42百万円、棚卸資産の増加額34百万円などです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、12百万円の支出(前年同期は6百万円の支出)となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出8百万円、長期前払費用の取得による支出4百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、88百万円の収入（前年同期は5百万円の支出）となりました。

主な増加要因は、長期借入による収入100百万円などによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2022年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	857,483	1,038,875
受取手形、売掛金及び契約資産	280,360	184,541
商品及び製品	10,169	12,213
仕掛品	7,821	41,239
原材料及び貯蔵品	5,555	4,543
その他	56,498	72,573
貸倒引当金	△256	△256
流動資産合計	1,217,633	1,353,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,970	4,364
工具、器具及び備品（純額）	17,596	20,996
リース資産（純額）	22,405	17,887
有形固定資産合計	44,972	43,249
無形固定資産		
ソフトウェア	6,961	5,094
その他	364	364
無形固定資産合計	7,325	5,458
投資その他の資産		
投資有価証券	202,016	151,763
繰延税金資産	9,050	7,867
敷金及び保証金	124,370	124,370
その他	16,232	17,136
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	339,818	289,286
固定資産合計	392,116	337,993
資産合計	1,609,749	1,691,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	67,791	65,820
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	-	20,040
リース債務	16,263	11,813
未払法人税等	28,689	25,685
契約負債	25,381	35,652
受注損失引当金	-	1,300
その他	57,605	37,316
流動負債合計	295,733	297,628
固定負債		
長期借入金	-	76,620
リース債務	9,284	8,331
退職給付に係る負債	9,132	9,788
その他	1,056	99
固定負債合計	19,472	94,838
負債合計	315,205	392,466
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,097,425	△1,089,580
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,282,544	1,290,389
新株予約権	742	697
非支配株主持分	11,257	8,169
純資産合計	1,294,543	1,299,256
負債純資産合計	1,609,749	1,691,723



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	931,742	932,413
売上原価	591,750	623,613
売上総利益	339,991	308,800
販売費及び一般管理費	266,941	233,124
営業利益	73,050	75,675
営業外収益		
受取利息	3	4
その他	149	129
営業外収益合計	153	134
営業外費用		
支払利息	662	766
持分法による投資損失	85,253	96,340
その他	20	1
営業外費用合計	85,935	97,109
経常損失(△)	△12,732	△21,298
特別利益		
持分変動利益	99,401	42,223
新株予約権戻入益	-	45
固定資産売却益	-	100
特別利益合計	99,401	42,368
税金等調整前四半期純利益	86,669	21,069
法人税、住民税及び事業税	13,467	15,128
法人税等調整額	778	1,183
法人税等合計	14,246	16,312
四半期純利益	72,423	4,757
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	598	△3,087
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,825	7,845

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	72,423	4,757
四半期包括利益	72,423	4,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,825	7,845
非支配株主に係る四半期包括利益	598	△3,087

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	86,669	21,069
減価償却費	12,829	13,402
ソフトウェア償却費	2,029	1,866
その他の償却額	1,466	3,120
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,200	1,300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	587	655
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	662	766
固定資産除売却損益(△は益)	-	△100
持分変動損益(△は益)	△99,401	△42,223
新株予約権戻入益	-	△45
持分法による投資損益(△は益)	85,253	96,340
売上債権の増減額(△は増加)	129,585	95,819
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,215	△34,448
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△13,981	△16,077
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,055	△1,971
未払金の増減額(△は減少)	648	△2,794
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△893	537
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,555	△16,147
その他の流動負債の増減額(△は減少)	24,397	8,788
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1,584	△1,056
その他	△2,543	△3,864
小計	167,094	124,933
利息及び配当金の受取額	3	4
利息の支払額	△658	△763
法人税等の支払額	△31,003	△18,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,435	105,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,018	△8,474
固定資産の売却による収入	-	100
無形固定資産の取得による支出	△2,651	-
長期前払費用の取得による支出	△3,065	△4,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,735	△12,399
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	-	△3,340
リース債務の返済による支出	△5,988	△8,472
新株予約権の発行による収入	742	-
その他	-	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,246	88,287
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	123,452	181,391
現金及び現金同等物の期首残高	608,898	857,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	732,351	1,038,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	757,758	105,653	68,330	931,742	—	931,742
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	45	45	△45	—
計	757,758	105,653	68,375	931,788	△45	931,742
セグメント利益又は損失 (△)	256,212	△10,696	△24,367	221,148	△148,097	73,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,097千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	735,805	120,920	75,687	932,413	—	932,413
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	9	9	△9	—
計	735,805	120,920	75,696	932,422	△9	932,413
セグメント利益又は損失 (△)	232,538	△10,540	△19,209	202,788	△127,112	75,675

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△127,112千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。